

め幹部を解雇する等、會社からの積極的攻勢の態度に堪へかね、終にやむなく罷業を以つて相對さねばならない結果になつた事を諒みされたい(三言ひ)何も會社當局に反對する爲に反對するものでは決してなく、會社當局の誠意ある回答を待つて平和な解決を確立したい。(十五日大阪時事)

◇會社當局の態度

罷業が午後四時過ぎであつた爲め、重役や幹部は退出した後で、會社側ではかなり狼狽し、應急策として運輸課その他各課の社員七十名を急に乗務員服に着替させて繰出し、更に各驛の驛長を召集して應急策を協議した結果、難波驛發の列車は平常三分毎であるが十二、三分ごとに一列車の割で發車し、内外は大混雑を呈した、午後八時には和歌山行急行及び直通・佐野、滝寺行の他は運轉を取消した、一方高野線は一部従業員が罷業に加はつたが、午後九時六分發列車限り、此の線も運轉を中止した、斯くて午後九時半に至り終に會社は各驛の驛長助役約百五十名及學校出の工場員約八十名其他運轉に心得ある者に向つて全部難波驛に集ることを命じ俄仕立の運轉手や改札を増して銳意乗客の不便を除くに努めた、島の内署では約二百名の正服巡查をくり出して各運轉臺に乗り込み罷業勸誘の警戒に努めた。(十四日大阪時事)

會社側は十五日午前十一時から、岡田事務を中心に各課長鶴首協議を續けてゐたが、その内容は罷業以前に作制されていたブラックリストを基礎に、いよく大鉈を揮ひ罷業團全部を解雇する言つてゐるが、これは事實上不可能だが、かなり多くの解雇者を出すことにならう、一方臨時募集の乗務員志願者は、十五日早朝から會社の前に雲集し数名の係員は應接に忙殺されること云ふ状態で、會社は却つて切りがないと、午前十一時千二百六十四名で打ち切りの中から選抜する段取であるが、採川数は根本的方針が確立しないので判明しない(十五日大阪時事)吉岡運輸課長は會社側の強硬な態度を語る、今度のことは豫てから豫期しないでもなかつたが、多分十三日の夜か十四日早朝であらうと思つてゐましたが、豫期より早く午後四時頃からだつたのは少々意外でした、十三日朝課長會議を開き之が對策は充分出来てゐたので、臨時運轉手や車掌の服等も新調準備してゐた位で、驛員工場員及本社詰の者も運轉經驗者が多数あり運轉には支障ない心算です、現従業員には罷業をやるなら勝手にやつて呉れ、ただ正服を脱いでやつて呉れ、そして君達が私服で去るのを見たら直ちに解雇すること云ふ旨を明かにしてゐます。(十四日大阪時事)

南海本社では渡邊社長岡田事務以下各課長參集、十四日午前十時から罷業團に對する會社側の態度について打合せを行つた結果「會社としては働かぬ従業員を雇つてをづつても仕方がないことであるから、逡巡せず斷呼たる處置に出る」と言ふ強硬な態度をもつてのごむことに決して十五分散會したが、正後「緊急達示」として左の如き聲明書が發表された。

十三日午後四時以後恣に任務を離れて缺勤し、十四日午後十二時に至るも任務に服せざるものは、別に辭令を用ひず